

Microformats / hAtom

xhtml + hAtomで
セマンティックなWebの構築

hAtomとは

- <http://microformats.org/wiki/hatom>
- ブログやニュース記事など、Atomが使用されている実質的にすべての場所内にあるセマンティック情報を識別するためのMicroformat。
- Atomのサブセットにあたる。
- hAtomコンテンツは、ブログのテンプレート定義に簡単な変更を施すことによってほとんどのブログに簡単に追加することが可能。

“Microformats”とは

- <http://microformats.org/>
- http://microformats.org/wiki/Main_Page-jp
- 人間第一、機械は二の次
(その逆=XML)
- Webサイトで人やイベント、タグを記述する際に用いるマークアップ方法。
- WebサイトからフィードやAPIを早く簡単に提供するための手段。
- Microformatsによって、さらに詳しい情報をWebで発信することができるようになる。

hAtom以外のMicroformatsあれこれ

- hCard
 - 連絡先の明示(例: address要素)
- rel-nofollow
 - Botよけ(<rel="nofollow">)
- hFork
 - ページ内リンク(段落など)を明示的に定義
ほかいろいろ(詳しくは[公式Wiki](#)参照)

対応状況

- ブラウザ
 - Firefox 3が対応するとかしないとか
- Webサービス
 - Twitter
 - Blogger (googleのブログサービス)
 - ほか
- アプリケーション
 - グリモン+LDRize
 - ほか？

hAtomを使うメリット

- セマンティックWebの実現
- ソフトウェアにコンテンツの「内容」をわからせる。
(machine-understandable)
- class属性の標準化(ハッカー大喜び)
- xhtmlの要素にメタ情報を埋め込んでいくカンジなので、中の人たち(エンジニア,コーダー||マークアップエンジニア)にとって読みやすい。
- ソフトウェアからも読みやすい(?)
- アクセシビリティの向上(につながる可能性をもつ)

実践例

- NucleusCMS用のテンプレファイルにhAtomフォーマットのclass属性を埋め込んでみる。
- "Tails"で確認してみる。

<http://www.sitegp.com/gpworks/>

アトリビューションの例

- hfeed(これはhAtomなフィードですよ)
- hentry(これはhAtomのエントリのセットですよ)
- entry-content(これはhentryの本文ですよ)
- entry-title(これはエントリのタイトルですよ)

などなど・・・詳しくは[公式Wiki](#)でチェックしてね

- サンプル

<http://microformats.org/wiki/hatom-examples>

注意すべき点とか今後の課題

- まずは構造的に妥当なマークアップがxhtmlでなされてあるのが大前提。話はそれから。
- ごく一部で流行っているだけっぽい。
- 実装がカンタン(基本class名を追加するだけ)なので積極的に自分のブログに取り入れたりすると、地味に普及の手助けになるかもしれない。

See also

- Firefox用アドオン「Tails」
<http://blog.codeeg.com/tails-firefox-extension-03/>
- <http://d.hatena.ne.jp/naoya/20050715/1121411871>
- <http://www-kasm.nii.ac.jp/mt/archives/000063.html>
- <http://www.ibm.com/developerworks/jp/xml/library/x-think39/index.html>
- <http://tools.microformatic.com/help/xhtml/hatom/>
- <http://niku.suku.name/item/577>
- <http://www.atmarkit.co.jp/news/200711/09/nri.html>
- <http://standards.mitsue.co.jp/archives/001256.html>
- <http://www.otsune.com/diary/2007/11/06/1.html#200711061>